

2021年6月11日

会社名 株式会社 モルフォ
(コード：3653 東証マザーズ)
住所 東京都千代田区西神田三丁目8番1号
千代田ファーストビル12階
代表者名 代表取締役社長 平賀 督基
問合せ先 取締役管理部長 福永 寛康
(TEL. 03-3288-3288)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時	2021年6月11日（金） 15：30 ～
開催方法	オンラインによる開催
開催場所	https://www.morphoinc.com/ir/news
説明会資料名	株式会社モルフォ 2021年10月期第2四半期決算説明資料

【添付資料】

1. 投資説明において使用した資料

2021年10月期 第2四半期決算説明資料

株式会社モルフォ
(東証マザーズ:3653)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。

Vision



Rise above what we see, to realize what we feel

-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

2021年10月期 第2四半期連結決算 概要

■ 特定顧客からのロイヤリティ収入減少、開発収入も一時的な減少

スマートデバイス事業に関して、米中貿易摩擦等の影響に伴い、特定取引先からのロイヤリティ減少
⇒スマートフォンメーカーのニーズに迅速に答えるべくグローバル展開を推進

■ グローバル展開をはじめとした事業推進に伴い、人件費関連増加

将来の中長期的な成長実現に向けたメリハリをつけた投資を継続
研究開発や海外拠点における人材投資を実施したことにより、研究開発費や人件費が増加

■ スマートフォンで培った画像処理・AI技術を基に新規戦略領域でビジネス進展

スマートファクトリー：産業用途の次世代スマートグラスに当社画像処理技術が採用
行政：国立国会図書館のOCR処理プログラムの研究開発を受託

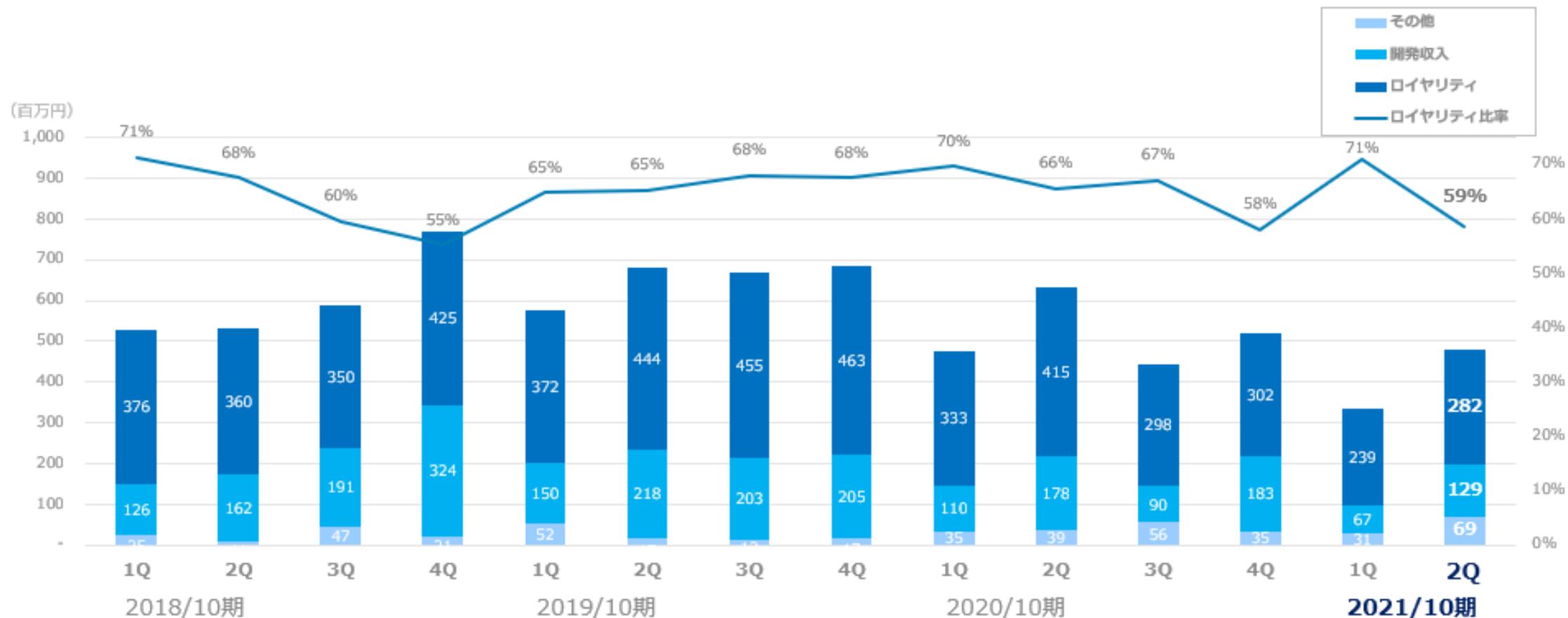
連結PLサマリー

- 売上: 主に特定顧客からのロイヤリティ収入減少・車載関連の開発収入の一時的減少
- 費用: コロナ影響等により経費減少するも、全社的に人員先行投資の影響により営業費用増
- 営業利益: △405百万円 (前年同期比△465百万円)

(単位:百万円)	2020/10期 Q2	2021/10期 Q2	増減	2021/10期 通期業績予想 (2020/12/11公表)
売上	1,109	815	△293	2,450
営業費用	1,049	1,221	171	2,600
営業利益	60	△405	△465	△150
経常利益	58	△390	△448	△160
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	△363	△373	△130

売上収益構成 - ビジネスモデル別 -

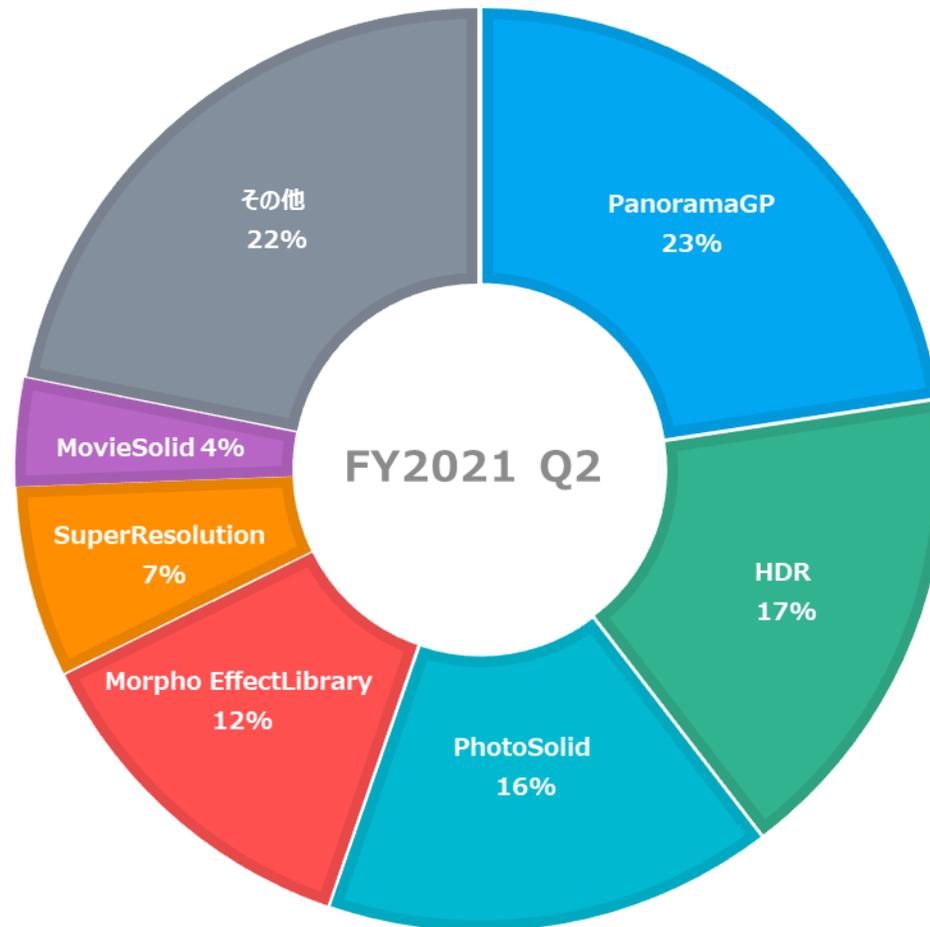
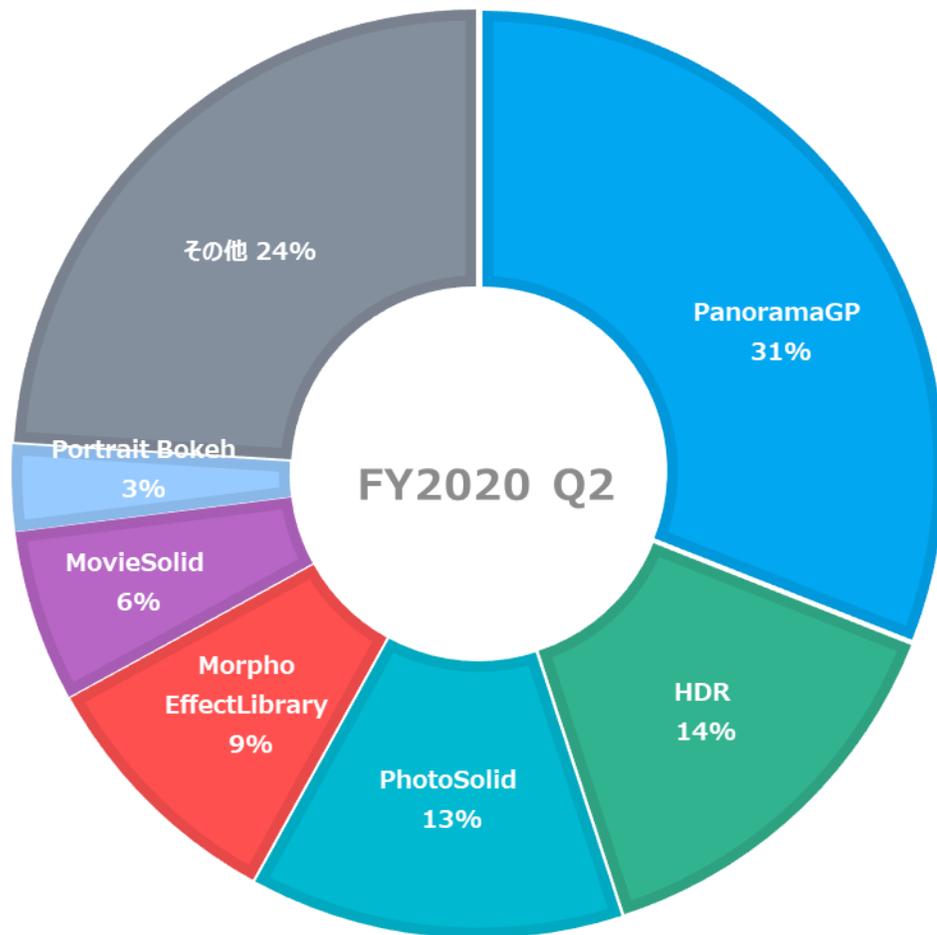
- ロイヤリティ収入：中国特定顧客との取引減少の影響により前年同期比では減少だが、前四半期比では増加
- 開発収入：車載関連開発の一時的な減少の影響により前年同期比では減少するも、前四半期比では増加
- その他：子会社(モルフォAIソリューションズ、Top Data Science)におけるコンサル・サポート収入増加



コロナ・米中貿易摩擦影響

売上収益構成 - ソフトウェア製品別 -

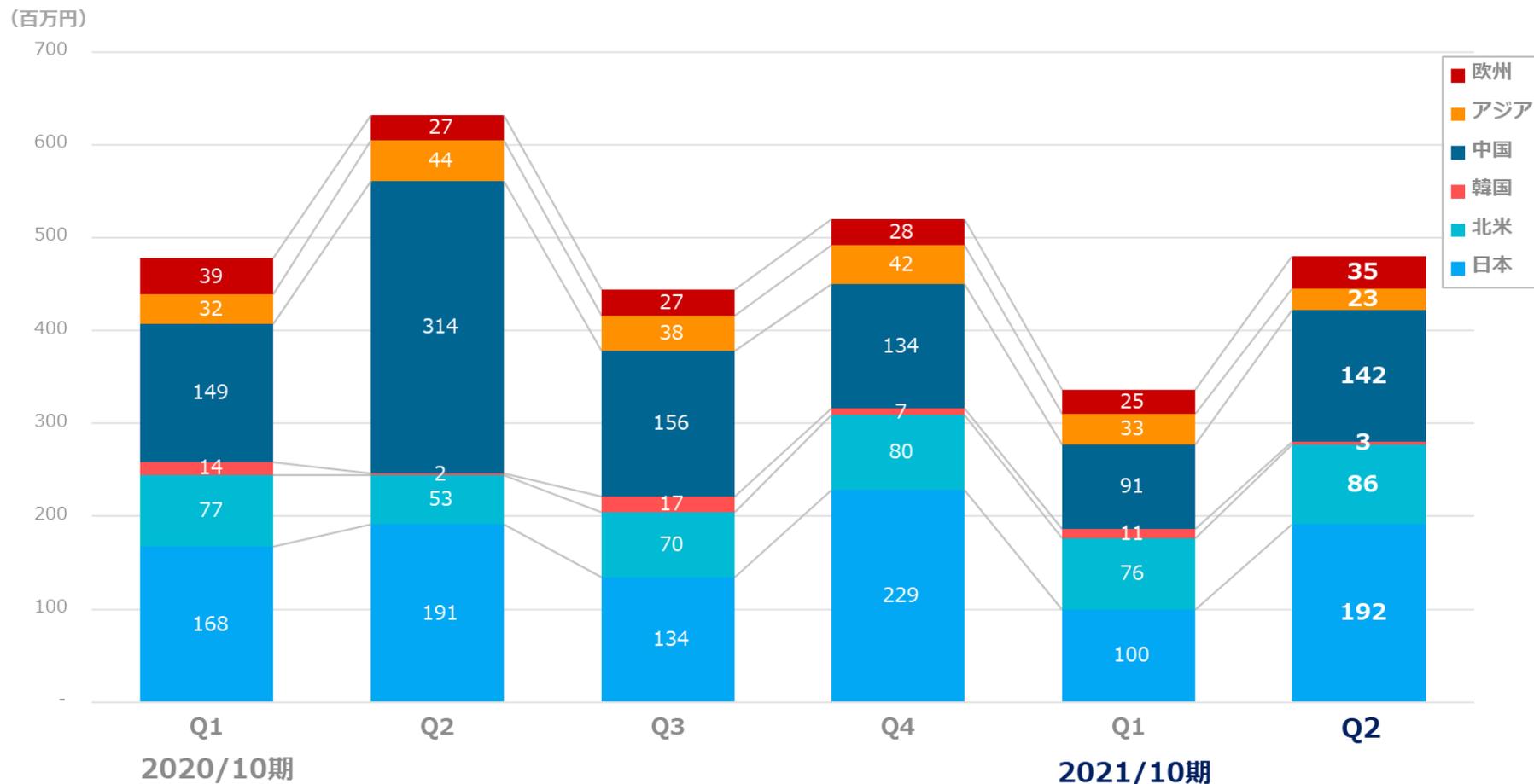
- 主要製品ラインナップに変更ないものの、機能向上/機能追加により継続契約獲得
- 新製品Morpho Semantic Filteringの売上貢献は下期以降を予定



%はロイヤリティ収入に対する割合

地域別売上推移

- 日本 国内子会社が売上貢献し、前年同期比及び前四半期比ともに増加
- 中国 特定顧客からの収入減少の影響により前年同期比では減少だが、前四半期比では増加



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠
 なお当期から管理会計上の地域分類一部見直しに伴い、前期数値を遡及修正しました
 (アジア：台湾、香港、ベトナム等)

将来のさらなる成長に向けて

既存の戦略領域におけるビジネス深化

スマートシティ領域内での新規ビジネス探索

車載・モビリティ

スマートフォン



スマートファクトリー

社会インフラ

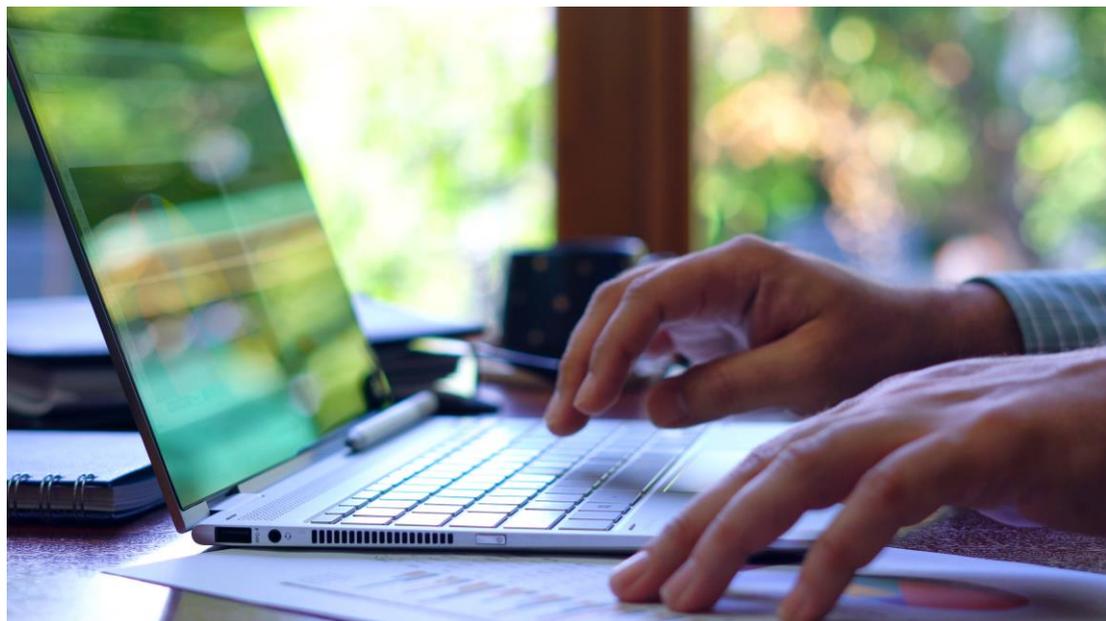
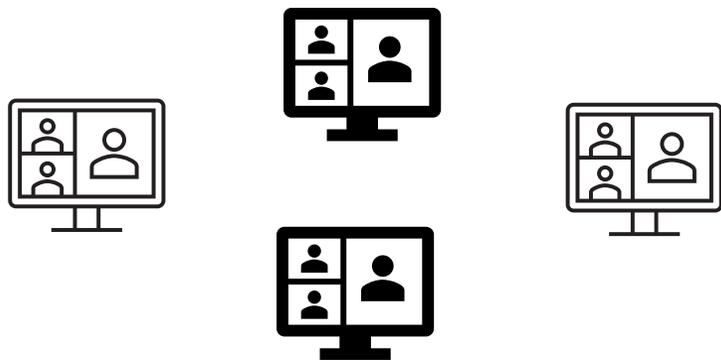
映像監視

PC/タブレット

車載・モビリティ

スマートフォン

PC・タブレット端末の画像処理ニーズ増加



実例:スマホ以外のデバイス需要の高まり

- ◆ 非接触型コミュニケーションの増加
(オンラインMeeting、オンライン授業等)
- ◆ スマホ以外のデバイス(PC・タブレット)における
画像処理ニーズ拡大(画質向上・背景ボケ)



- ◆ スマホでの技術優位性を横展開
- ◆ ソフトウェアによる高性能・省電力でのソリューションが可能に

ウエストユニティス社「InfoLinker3」に MovieSolid® が採用

2021年7月発売予定



今回採用された技術

2021年5月10日プレスリリース

動画向け手ブレ補正技術『MovieSolid』
一般的なX軸・Y軸に対する角度ブレ補正に加え、XY軸の並進方向とZ軸の回転方向、前後方向のブレ補正が可能。これまでスマートフォンを中心とした様々なエッジデバイスへ採用。

次世代スマートグラス「InfoLinker3」
産業現場作業を効率化するための様々な機能を装備。

連携支援サービス「LinkerWorks」の一つとして、作業者が装着したスマートグラスのカメラ映像を、遠隔地の指示者や管理者が確認することが可能。その際、作業者の動作により発生する映像のブレを『MovieSolid』により軽減。

「InfoLinker3」および「LinkerWorks」は、2021年7月発売予定。

子会社 モルフォAIソリューションズ OCR処理プログラムの研究開発を、国立国会図書館から受託

国立国会図書館のデジタルシフト



国立国会図書館ウェブサイトより

今回採用された技術

2021年5月18日プレスリリース

国立国会図書館(NDL)では、「国立国会図書館デジタルコレクション」でのサービス拡充を推進中。

国立国会図書館デジタルコレクションには、明治期以降の近代書籍をはじめとしたさまざまな年代の資料(約2億枚)がデジタル画像として含まれており、本文テキストデータの作成は難易度の高い作業。

本受託事業では、NDLが既に保有するデジタル画像に加えて、今後新たにデジタル化される資料も安定的に本文テキストデータを作成できるよう、最新AI技術を取り入れたOCR処理プログラムの研究開発を行う。

子会社 Top Data Science
Vietnam Military Medical University (VMMU) 、Ampharco USAと共同で、
ベトナムにおいてPCR検査ソリューションを提供



**AMPHABIO HT-HiThroughput
PCR COVID-19 KIT**

- VIETNAM MILITARY MEDICAL UNIVERSITY
- MIEN DONG SAIGON CLINICS
- TOP DATA SCIENCE LTD. (TDS), HELSINKI, FINLAND
- AMPHARCO U.S.A JSPC

Research Group Leader - Dr. Ho Huu Tho
Bộ trang thiết bị y tế chẩn đoán in vitro
xét nghiệm vi rút SARS-CoV-2

**AMPHABIO™
HT-HITHROUGHPUT PCR
COVID-19
KIT**

Bộ trang thiết bị y tế chẩn đoán in vitro
xét nghiệm vi rút SARS-CoV-2

**AMPHABIO™
HT-HITHROUGHPUT PCR
COVID-19
PRE-AMPLIFICATION KIT**

Bộ trang thiết bị y tế chẩn đoán in vitro
xét nghiệm vi rút SARS-CoV-2

**AMPHABIO™
HT-HITHROUGHPUT PCR
COVID-19
DETECTION KIT**

今回採用された技術

患者のウイルス量が少ないときに、PCR検査から感染したサンプルを検出。従来の検査方法と比較して、半分のコストで1回の分析につき最大8820サンプルの分析が可能に。

→AI技術を活用することで、コストを大幅に削減しながら検査の規模を拡大することが可能。

感染が急拡大しているベトナムでは、国全体の検査能力を拡大。当該検査キットがベトナム保健省に採用され、感染者が急増した北ベトナムのバクザン省住民のスクリーニングへ直ちに使用が開始。

Appendix

画像技術・AI技術を駆使したソフトウェア製品の開発

保有特許数 ※1

157

※1 2021年4月現在

累計ライセンス数 ※2

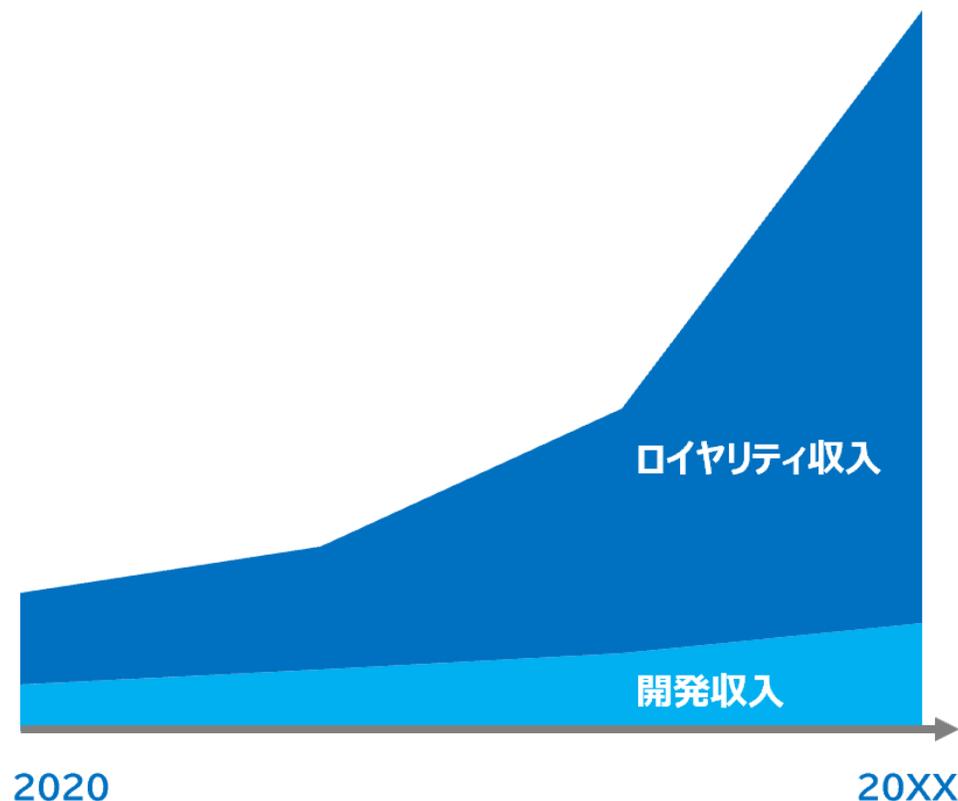
35億超

※2 2021年4月現在

- ✓ 画像技術に関する研究・開発力
- ✓ エッジデバイス向けのソフトウェア開発ノウハウ
- ✓ グローバルな事業基盤

ソフトウェア・ライセンス事業により収益の積み上げを実現

目指す収益構造の成長イメージ



ロイヤリティ収入

- ・各メーカーへ当社グループのソフトウェア製品を提供
- ・各メーカー製品の出荷台数/期間に応じたライセンス料收受

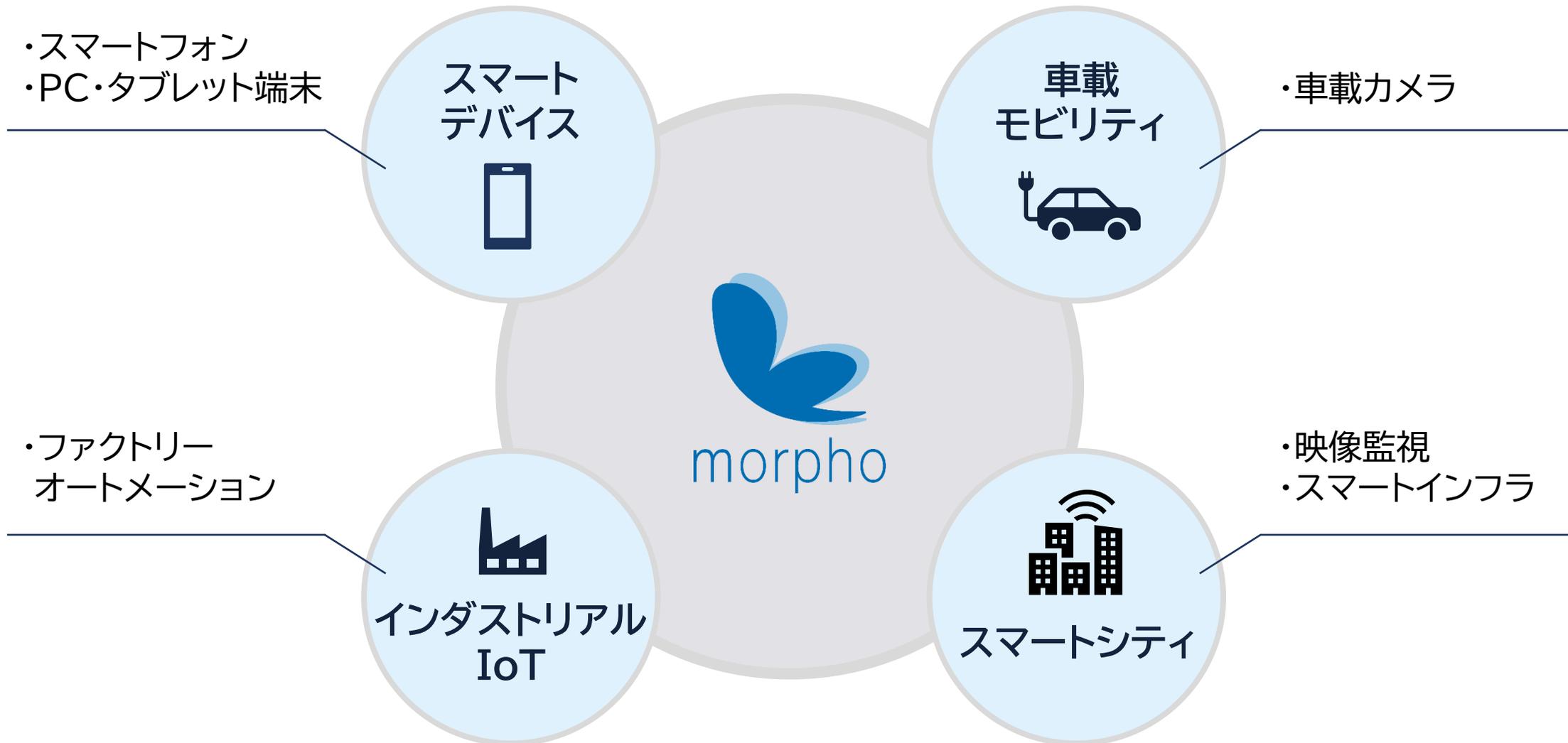


開発収入

- ・新製品・サービス開発時に、各メーカーからモルフォが開発を請負
- ・一定の条件を満たせば当社グループ単独でライセンス展開

事業環境/今後の展望

先進のイメージング・テクノロジーにより、利便性・安心安全・生産性の向上に貢献する



スマートデバイス

半導体パートナーとの連携強化/グローバル展開加速
スマホ以外(PC・タブレット端末)の需要拡大への対応

車載・モビリティ

車載メーカーとの協業強化

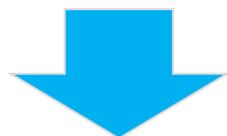
インダストリアルIoT

新規ビジネスの拡大へ

スマートシティ

社会課題の解決へ

 <p>スマートデバイス</p>	<ul style="list-style-type: none">・カメラ機能の高度化・Mid・Low出荷台数比率向上・処理速度向上・省電力要求 → モルフォのソフトウェア製品ニーズ
---	--



スマートフォンOEM・ODMニーズへの迅速な対応
端末カメラ機能を左右する半導体メーカーの存在

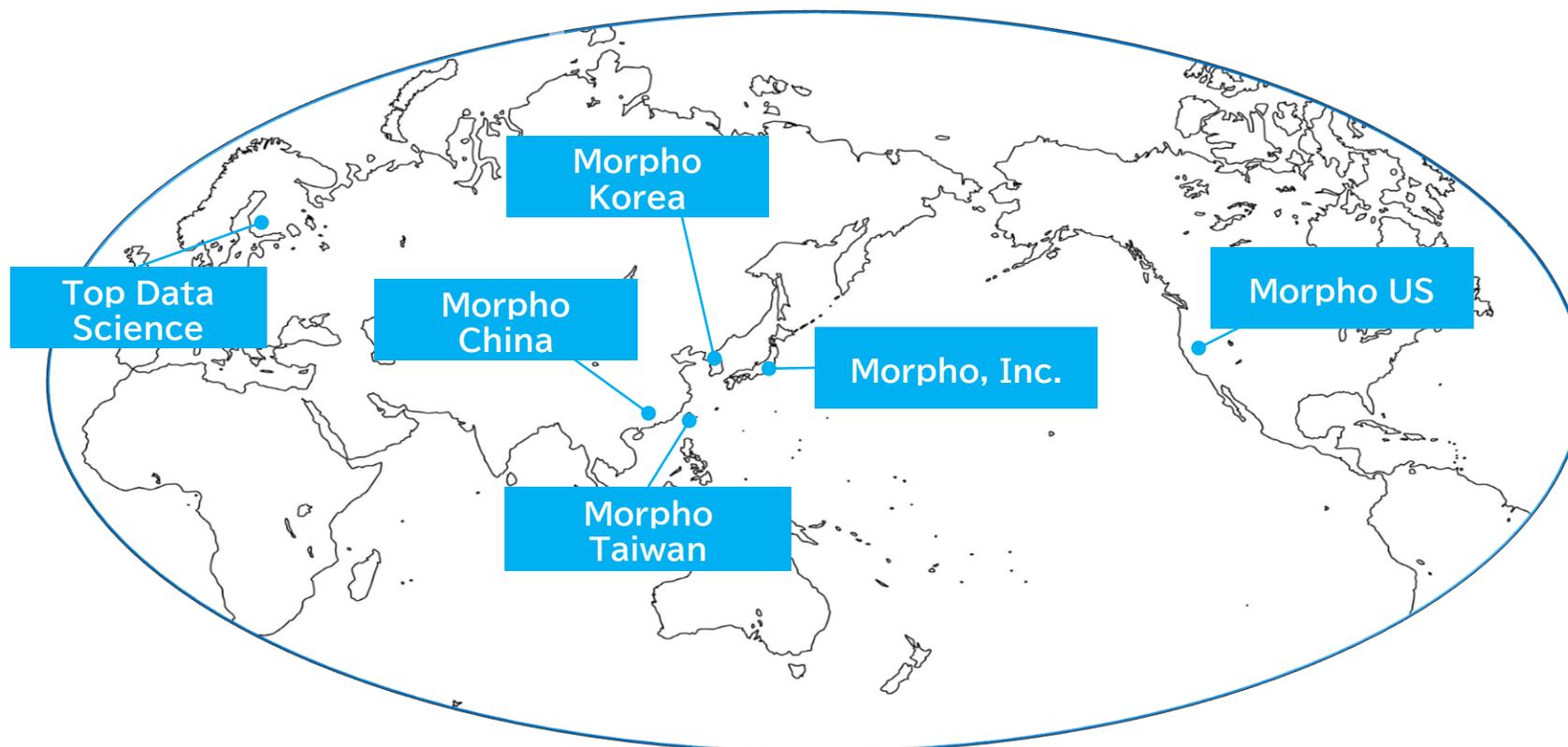


<p>戦略</p>	<ul style="list-style-type: none">・グローバル展開の推進・半導体メーカーとのパートナーシップ・PC・タブレット端末への製品展開
-----------	--

グローバル展開の推進

スマートフォン世界Top10社のうち7社への技術提供
⇒スマートフォンOEM・ODM各社ニーズへの迅速な対応を可能とするグローバル展開

モルフォグループ世界拠点



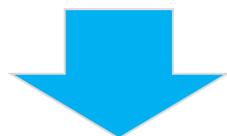
端末カメラ機能を左右する半導体メーカーとの協業





車載・モビリティ

- ・ADAS(先進運転支援システム)市場の拡大
- ・車載カメラ搭載増加/多様化



AI技術応用分野拡大→ モルフォの画像処理×AI ニーズ
メーカー各社との中長期的な研究開発が重要



戦略

- ・車載メーカーとのパートナーシップ継続・強化
- ・半導体メーカーとの連携開始

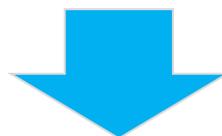
ルネサスエレクトロニクス株式会社のR-Carコンソーシアムに参画(2020年11月)





インダストリアルIoT

- ・労働人口減少
- ・コロナウイルス感染症感染拡大への対応



第2の眼としての画像処理・エッジのニーズ & AIによる生産性向上が必要
スマートフォンで培ったモルフォ技術の他用途展開が可能



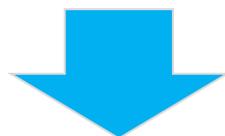
戦略

- ・モルフォの技術で様々な画像処理ニーズへ対応



スマートシティ

- ・様々な社会課題(人口減少、災害、インフラ老朽等)の存在
- ・コロナウィルス感染症感染拡大への対応



様々な社会課題の解決に画像処理・AIのニーズ
スマートフォンビジネスで実績のあるモルフォ技術の用途展開が可能



戦略

- ・モルフォの技術で社会課題の解決を目指す



Thank you

お問い合わせ先
管理部 IR担当

TEL:03-3288-3250

E-Mail: m-info-ir@morphoinc.com